

## 2014 年度 第 5 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 27 年 3 月 18 日(水) 13 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 多田元英, 稲岡真也, 岡崎太一郎, 向野聡彦, 吹田啓一郎, 田川泰久,  
(敬称略) 田中 剛, 玉井宏章, 寺田岳彦, 中込忠男, 成原弘之, 藤田正則,  
増田浩志, 緑川光正, 見波 進, 宇佐美徹(記録)  
欠席:井戸田秀樹, 一戸康生, 岡本哲美, 越智健之, 河野昭彦, 笠井和彦,  
澤本佳和, 木村祥裕, 竹内 徹, 西山 功, 原田幸博, 平島岳夫

## 4. 配付資料

- 05-01 2014 年度第 5 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査)
- 05-02 2014 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
- 05-03 2014 年度第 4 回構造本委員会議案(多田主査)
- 05-04 鋼構造座屈小委員会 (井戸田委員)
- 05-05 鋼構造接合小委員会(増田委員)
- 05-06 2014 年度第 4 回鋼構造制振小委員会議事録(案)(緑川委員)
- 05-07 鋼構造耐火設計小委員会第 23, 24 回議事録(案)(平島委員)
- 05-08 鋼構造環境小委員会 2014 年度第 9 回議事録(藤田委員)
- 05-09 2014 年度第 6 回鋼構造素材小委員会議事録(案)(見波委員)
- 05-10 2014 年度鋼構造塑性設計小委員会第 5 回議事録(案)(玉井委員)
- 05-11 鋼構造関連規準・指針の英文化 WG 第 9, 10 回議事録(案)(岡崎委員)  
鋼構造規準 -許容応力度設計法- 査読のための補足資料(補足 2)  
Design Standard for Steel Structure
- 05-12 2015 年度大会 PD 資料(吹田委員)
- 05-13 鋼構造素材小委員会 2014 年度のまとめ(見波委員)
- 05-14 質疑回答の一覧(井戸田委員)
- 05-15 2014 年度小委員会活動成果報告書(多田主査)
- 05-16 2015 年度予算原案(多田主査)
- 05-17 日本建築学会大会プログラム編成会議の鋼構造部門の参加者(多田主査)

## 5. 議事内容

- (1) 資料 05-02 に基づき前回議事録の確認がなされた。
- (2) 資料 05-03 に基づき吹田委員(多田主査代理)より構造本委員会の報告がなされた。
- ・ 3/25 に調査研究委員会活動報告会で構造委員会の報告がなされる。
  - ・ 東日本大震災合同調査報告の刊行予定が報告された。
  - ・ 2015 年度鋼構造の大会 PD は 3 日目の AM となった。
  - ・ 大会開催地が遠隔なため, 例年より 30 分遅れの開始とする。
  - ・ 建築デザイン発表と学術講演が重なった場合, 学術講演会の発表を行う。

- ・ 論文集委員会委員に多田主査，技術報告集委員会委員に寺田委員を推薦した。
- ・ 2015 年度大会学術講演会プログラム編成会議は 4/20 に開催される。
- ・ 「鋼構造環境配慮設計指針 一部材リユース-」への書名変更，および同指針の会員意見募集免除の申請をし，承認された。
- ・ 火災性状・温度解析 WG，鋼材高温特性 WG の設置申請書が提出され，承認された。
- ・ 委員の委嘱，解嘱(解嘱:藤田委員→委嘱:兼光委員，解嘱:玉井委員→委嘱:五十嵐委員)
- ・ 2014 年度で終了する委員会・WG のオンラインストレージは削除されるのでデータの保管に注意する。

(3) 資料 05-04~05-11 に基づき各担当委員より小委員会および WG の報告がなされた。

座屈小委員会(資料 05-04, 井戸田委員)

- ・ 特になし

接合小委員会(資料 05-05, 増田委員)

- ・ 高力ボルト接合設計施工ガイドブックの本委員会査読回答案はおおむね完成。
- ・ 図の出典を付けるように指示があったが，古いものがあり，すべて対応するのは難しい。
- ・ 梁端混用接合 WG に増田委員を委嘱する旨が報告され委員会で承認された。  
→事務局に確認して必要な手続きをすること。(多田主査)
- ・ 小員会より WG の活動が中心であるので，今後は WG の活動内容も報告のこと。(多田主査)

制振小委員会(資料 05-06, 緑川委員)

- ・ 今後は，正誤表の作成を中心に活動する。

耐火設計小委員会(資料 05-07, 平島委員)

- ・ 2015 年 9 月にシンポジウムを開催予定である。

環境小委員会(資料 05-08, 藤田委員)

- ・ 委員会査読の対応状況について説明がなされ，承認された。今後は本委員会査読になる。
- ・ 部材リユースとリユースとの使い分けについて検討のこと。

素材小委員会(資料 05-09, 見波委員)

- ・ データベースの公開方法について議論した。
- ・ 鋳鉄検討 WG を設置したい旨が報告され，承認された。  
→事務局に確認して必要な手続きをすること。(多田主査)  
→学会の活動なので，アカデミックな点を意識して活動してほしい。(多田主査)  
→WG の成果はハンドブック的な出版物に盛り込むことを考えている

塑性設計小委員会(資料 05-10, 玉井委員)

- ・ 柱-梁接合部の性能に関しては，接合小委員会のデータを参考にさせていただきたい旨を連絡し，了承された。
- ・ 広重委員の解嘱に伴い，委員の委嘱を検討している。  
→決定後，事務局に確認して必要な手続きをすること。(多田主査)

鋼構造関連規準・指針の英文化 WG(資料 05-11, 岡崎委員)

- ・ Preface to the English Edition を追記したので，各委員コメントがあれば岡崎委員ま

で連絡のこと。

- ・ 3/17 に原稿を笠井委員，木村委員に送付済みである。今後，5/22 までに査読してもらい，7 月末までに修正し本委員会査読(大崎委員，森委員)に移行する予定である。9 月末までに本委員会査読を完了し，11 月末までに修正，脱稿予定である。
  - ・ 柱材のタイトルは見直す。
  - ・ JIS との対応はできる限り新しいものに行っているが一部対応していない箇所もある。
  - ・ 現 S 規準でメンテナンスが必要な箇所を洗い出し，次回委員会に提出する。  
→それ以外にメンテナンスが必要な箇所がないかを各小委員会で検討する。(多田主査)
  - ・ 今後は接合設計指針を英訳する方針とする。
  - ・ 佐藤委員(名工大)の委員追加が承認された。
- (4) 資料 05-12 に基づき吹田委員より 2015 年度大会 PD の会告資料について説明がなされた。
- ・ 語句の整合を検討する。(疲労と繰返し，内陸直下型と内陸直下)
  - ・ 主題の変更等あれば，吹田委員まで連絡のこと。
  - ・ 次回以降の委員会で 2016 年度 PD について検討する。
- (5) 重点審議として，資料 05-13 に基づき見波委員より鋼構造素材小委員会の 2014 年度活動内容，データベースの運用・メンテナンス，今後の刊行物(予定)について説明がなされた。
- ・ データベースの利用は研究目的に限定であるが，接合部係数を決める際に用いる等の技術的検討目的であれば実務関連でも良いと考えている。
  - ・ 利用申請から認可までは長くても一か月程度であると思う。
  - ・ 公開されなかった鋼材に関しては PD の資料で確認できる。
  - ・ ボルトについては今後取り扱いを検討するが，溶接材料についてはデータベースがないので，考えていない。
  - ・ 他の小委員会で公開希望の鋼材があれば，見波委員まで連絡のこと。
  - ・ 鉄鋼連盟の出版物はおおよそ 10 年ごとに見直して出版している。
- (6) 資料 05-14 に基づき学会図書の質疑回答状況について確認がなされた。
- (7) 資料 05-15 に基づき多田主査より 2014 年度小委員会活動成果報告書について説明がなされた。
- (8) 資料 05-16 に基づき多田主査より 2015 年度予算原案について説明がなされた。
- ・ 制振小委員会は減額(指針刊行終了)，鋼構造塑性設計小委員会は増額の維持(指針改定作業の本格化)，英文化小委員会は若干の減額(来年度に構造委員長裁量経費の配分を期待できない)。  
→鋼構造規準の英文をネイティブチェックしてもらうことにより国際委員会に応募してはどうか。
- (9) 資料 05-17 に基づき多田主査より日本建築学会大会プログラム編成会議の鋼構造部門の参加者について説明がなされた。

## 6. その他

- ・ 今後の重点審議は次の通り。
  - ◇ 2015 年度第 1 回運営委員会:接合小委員会

- ◇ 2015年度第2回運営委員会:座屈小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時，場所は以下の通り。
  - 第1回 2015年5月25日(月)，13:00-17:00，於:建築会館